

(基本方針Ⅱ) 地域資源の保全・活用と活気のある農村づくり【農村の活力向上】

**推進施策 8 農村地域における再生可能エネルギーの導入**

本県の農村地域には豊富な再生可能エネルギー資源が存在していますが、適地が分散していることや個々の規模が小さいことから十分に活用されていない状況にあります。

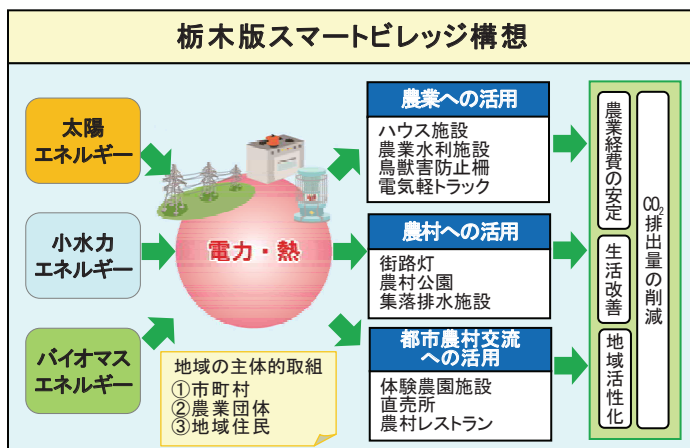
このため、小水力や太陽光などの身近な再生可能エネルギーを電気等に変換し、農村地域での有効利用を目指す“栃木版スマートビレッジモデル<sup>※1</sup>”の推進・拡大を図るとともに、小水力発電の可能な基幹的農業用水路の落差を対象に、小水力発電施設の導入に必要な設計・協議や施設整備を支援します。

※1「スマートビレッジ」とは、農村地域において再生可能エネルギーを地域単位で統合的に管理するシステムを構築し、再生可能エネルギーを高度に生産・利用する取組

**取組内容と目標指標**

(1) スマートビレッジの普及啓発とモデルの推進・拡大

- スマートビレッジモデル研究事業(H23～H27)での研究成果を活かし、地産地消型の小水力などの再生可能エネルギーの利活用に向けた普及啓発とモデルの推進・拡大に取り組みます。



小水力発電実証施設から商用車への充電状況

(2) 農業用水を活用した小水力発電の導入促進

- 利用可能量調査(H24～H25)の結果に基づく“小水力発電が可能な基幹的農業用水路の落差”約340箇所などを対象に、農業用施設等へ電力を供給する小水力発電の導入に必要な設計・協議や施設整備を支援します。

指標	指標項目	現状(H26)	目標(H32)
15	農業用水を活用した小水力発電量(設備容量)	1,510kW	1,870kW